

たがらじま



2023年1月発行 NO.35
特定非営利活動法人 宝島
座間市入谷西2-53-14
TEL 046-259-5120
FAX 046-259-5121

会員数 70名 (令和5年1月現在)

～人間が生きていく上で最高の宝物、それは「思いやり」や「やさしさ」
私達は障がい児者支援を通して、その宝物を身につけていきます。～



宝島のホームページ

新年、あけましておめでとうございます！

昨年、世の中はコロナの流行にさらされた一年でした。そんな中、世間的に一番の明るい話題はサッカー・ワールドカップでの日本の活躍ではないでしょうか。ベスト8には届きませんでしたが、ワールドカップでサッカー強国、ドイツ、スペインに逆転勝利という結果は、日本にとってワールドカップ出場が夢であった時代(40～50年前頃)を知る私にとっては夢のような結果です。

一方「宝島」にとっても明るい話題がありました。それは、生活介護の新拠点を確認することができたことです。座間市内には生活介護を行っている事業所が「宝島」を含めて4カ所ありますが、どの事業所も新規の受け入れに余裕がなくなっている状況です。新田宿施設も限界に近づいており、利用者さんが活動するにあたって空間の余裕がなくなっていました。そのため、生活介護の新拠点の確保を今後の「宝島」の方向性の一つとしていました。そんな中、早い段階で希望に見合った建物を市内で見つけることができました。以前から新たな場所探しには時間がかかるのでは、と懸念していただけに、これはうれしい誤算でした。

緑ヶ丘に生活介護の新拠点ができたとともに新田宿・生活介護の一部の利用者さんがちらに異動したり、職員や非常勤スタッフの配置転換も必要となります。そのため一部事業の改変を行うことにしました。具体的には、緑ヶ丘ゆめひろばでのお弁当作りを2月で終了し、その場所を赤い屋根の分場として活用することにしました。

今年の明るい話題は、いったい何になるのでしょうか。気候変動、ウクライナ戦争、コロナ流行などの暗い話題が徐々にでも良いので解決方向に進んでいくことを願ってやみません。私としては、今年も「利用者さん、利用者さんの保護者の方々が、宝島を利用して良かった。また、宝島で働く人々が、ここで働いて良かった。」とさらに思われるような「宝島」にしていきたいと思えます。みなさんにとって明るい話題の多い一年になりますように。

NPO法人 宝島 理事長 磯崎洋二



生活介護事業 **緑ヶ丘たからじま** スタート!

NPO法人宝島では新田宿地域の「生活介護たからじま」につづき、新たに緑ヶ丘地区に生活介護事業「緑ヶ丘たからじま」を開所しました。集団活動や個々の活動時間を組み合わせながら互いの個性やこだわりを共有していけるような場所を目指します!



通り沿いから看板が見えます

緑ヶ丘たからじま外観

☆定員:20名

<主な日課 9:30~15:30>

午前:作業(CD解体、受注菓子作業他)

午後:外出活動中心(ドライブ・ウォーキング)

※午前、午後の日課は個別または少数グループ単位で行います。



敷地内に十分な駐車スペースもあります!

NPO 法人宝島 緑ヶ丘たからじま(座間中学校正門向かい角田税理士事務所裏側)
座間市緑ヶ丘 5-4-25 TEL046-205-4925/FAX046-205-4926
※座間市役所通り、小田急線相武台前駅から徒歩約 15 分

~温かいお心に感謝します!~

- ◎ご厚志……柵山弘子様、松本栄子様、鹿野理子様
- ◎野菜・果物類……高橋信子様、鈴木茂様、大矢文昭様、古屋忠文様、丹沢農園様、渡辺浩二様
- ◎ペットボトルキャップ……星野ゴルフガーデン様、西野建設様、五島様
- ◎その他…福山様(リハビリパンツ)



(令和4年4月~12月)
心から感謝し、大切に
使わせていただきま

編集後記

サッカー日本代表の活躍で幕を閉じた2022年。3年前から続くコロナ禍の中、陽性者の増減を何度も繰り返しながら新年を迎えることとなりました。そんな中、宝島においては7か所目となる新施設が本格稼働します。生活介護事業所が2拠点となる宝島にとってはサッカー日本代表のように新たな時代への幕開けとなります。

これまで毎年のように積極果敢にチャレンジを続けてきた宝島のさらなる挑戦をどうか温かく見守っていて下さい。今年もよろしく願いいたします。